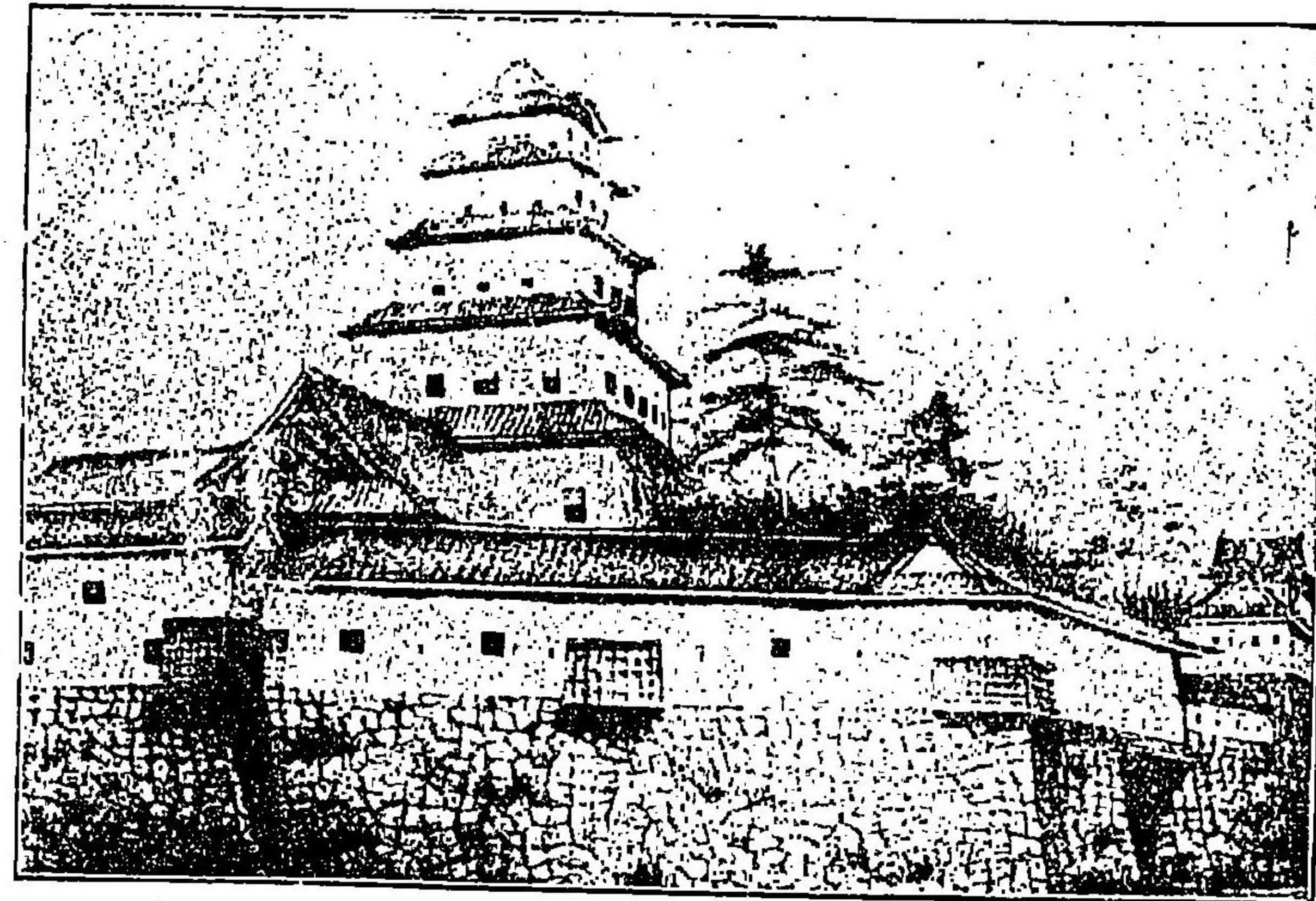


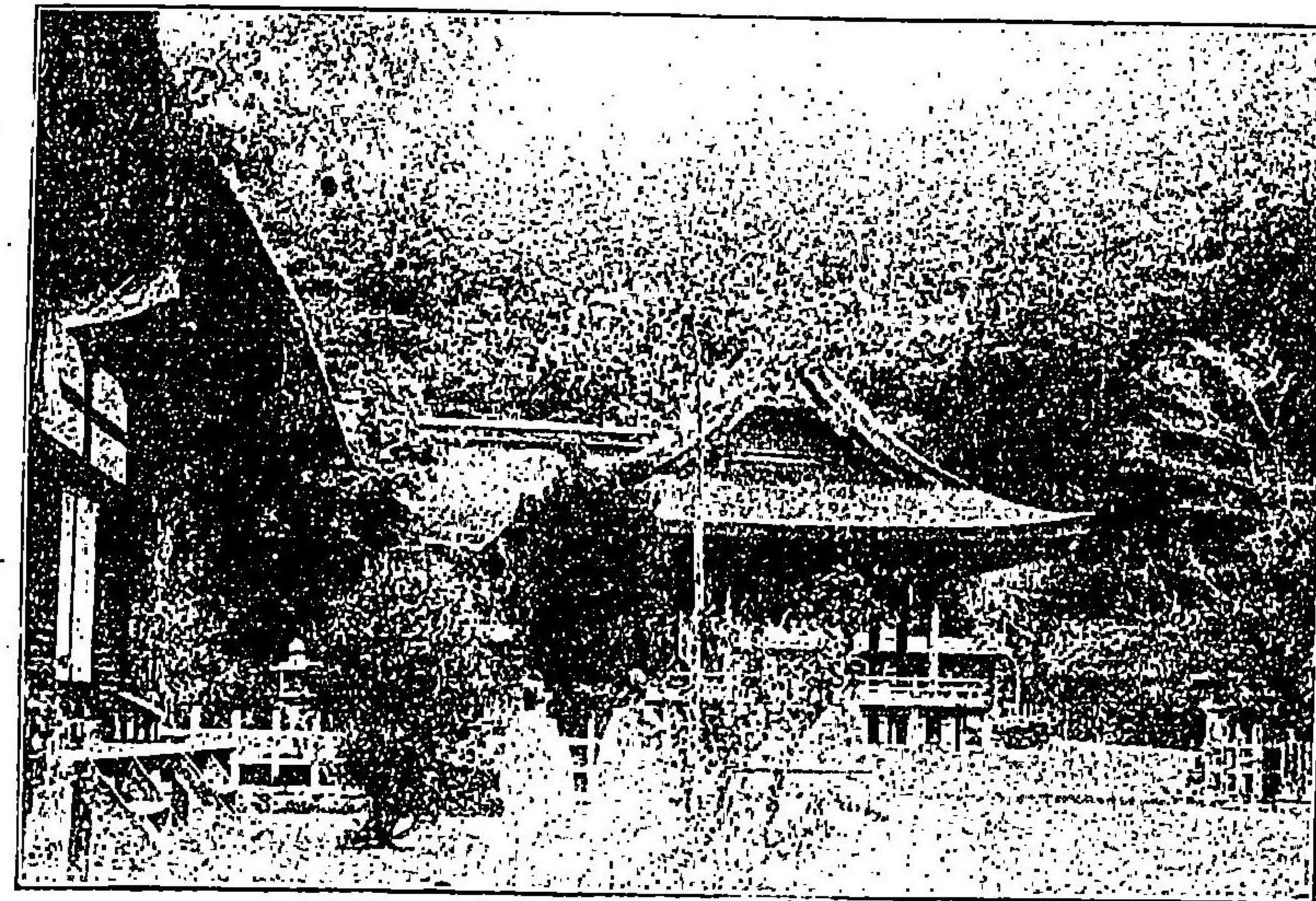
特71

595

南桑史蹟

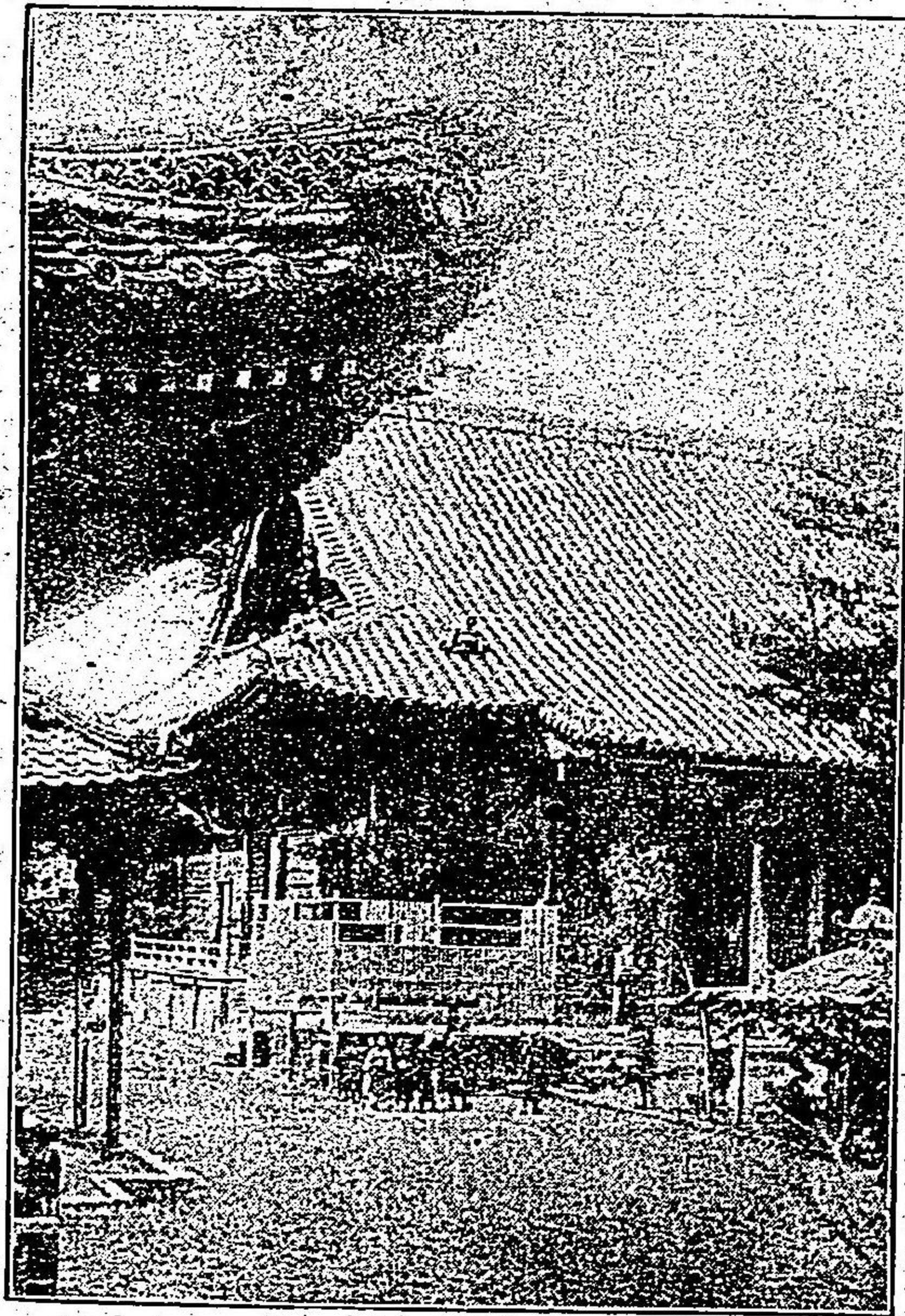


城舊山龜所名岡總

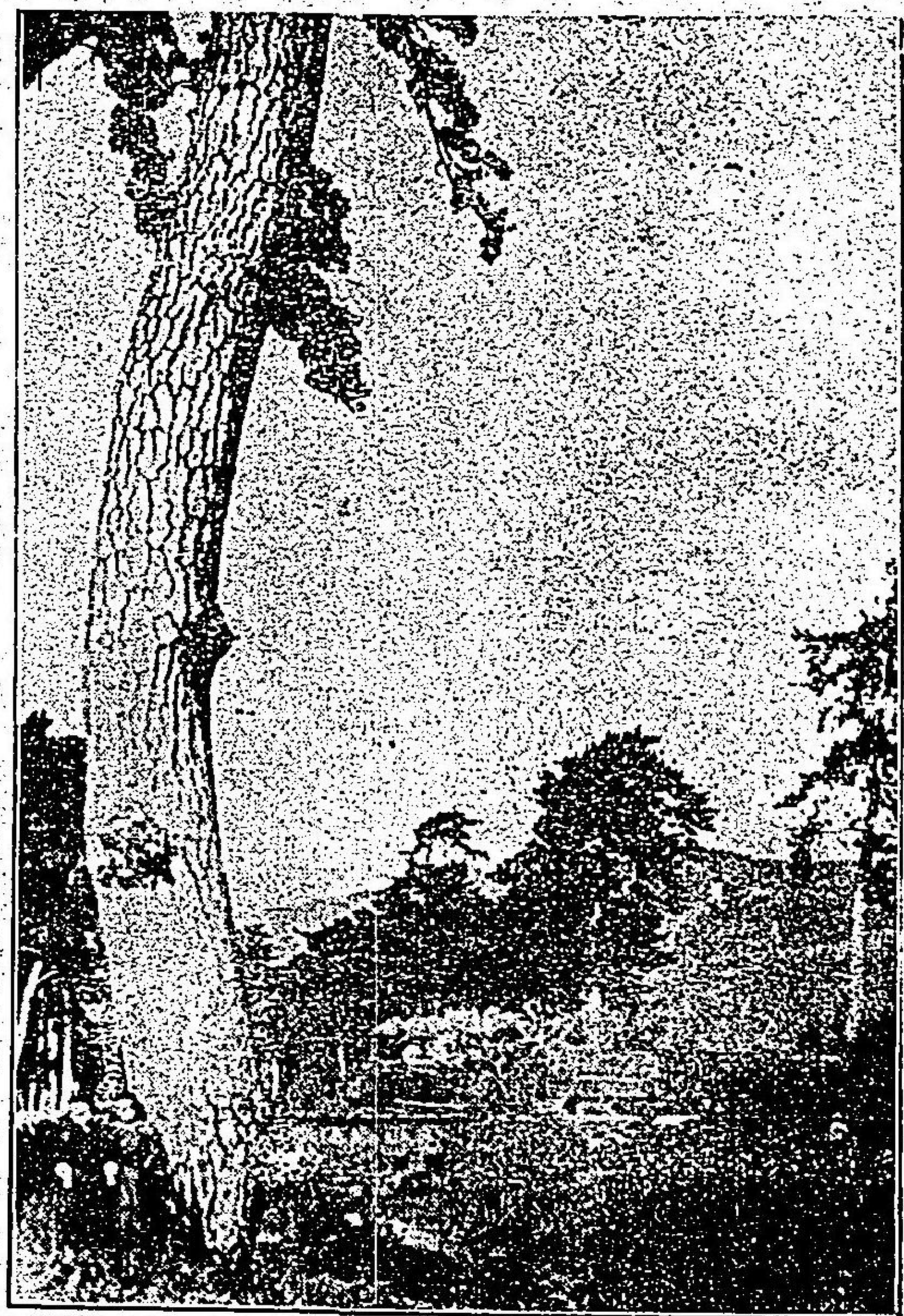


社神雲出社中幣國

2011.10.25



寺太穴波丹 所札番一廿國四



(立橋野名一) 松本千 岡総波丹



保津川の瀬



保津川上流の釣

## 序

曩ニ我ガ南桑教育部會、郷土史蹟ノ風教ニ關スル多大ナルニ鑑ミ郡内史蹟調査ノ事ヲ企テ諸般ノ事蹟ニ亘リ各小學校ニ之レガ調査ヲ委囑セリ爾來各校長諸君熱心ニ其資料ヲ蒐メ陸續トシテ齎シ來ルモノ繁簡同シカラズト雖ドモ之ヲ閱スルニ及ンデ益其事蹟ノ見ルベキモノ多キヲ覺ユ即チ之ヲ一括シテ遂ニ此ノ稿ヲ編成ス

題シテ南桑史蹟ト云フ想フニ南桑ノ地山陰道ノ咽喉ニ當リ加フルニ本邦歴史ノ淵叢ナル京都ニ近キヲ以テ史蹟ノ尋ヌベキモノ頗ル多ク龜岡城趾及ビ法常寺ノ如キ出雲神社ノ如キ穴太寺ノ如キ乃至各家史傳ノ如キニ至ツテハ各獨立シテ一篇ヲ成スノ價值アリ況ンヤ全郡ノ事片々タル小冊子ノ克ク盡ス所ニアラズ本篇ハ僅ニ其ノ一端ヲ摘記シテ聊温古ノ資料ニ供セント擬スルノミ

若シ夫レ史蹟ノ遺漏調査ノ繁簡事實ノ確否ニ至ツテハ更ニ後日ヲ期シ  
識者ノ推敲ヲ待テ漸次完璧ニ至ラシメントテ期ス徒ラニ地ニ由テ情  
偏シ年ニ於テ意ヲ異ニスルニ非ルナリ凡ソ現代ノ事尙ホ解シ難シ況ン  
ヤ史蹟ヲ讀者之ヲ諒セヨ

明治四十五年七月

京都府教育會南桑田郡部會長 大森吉五郎

目次

一、由緒アル建築物並ニ記念物等	一
二、由緒アル地名	六
三、碩學偉人傑士等ニ關スル事項	一一
四、忠臣孝子節婦義僕等ニ關スル事項	一八
五、古戰場古墳等ニ關スル事項	二四
六、名勝舊蹟	二八
七、神社佛閣	四一
八、大樹巨石	四九
九、口碑傳說	五一

# 一、由緒アル建築物並ニ記念物

## 龜岡町

### 邁訓堂

舊藩文武ノ學校ニテ其講堂ハ今尙ホ存シ武徳會支部ニ充テラル邁訓堂ノ大字額ハ白河城主松平定信(藩主ノ外祖)ノ筆ニカ、リ龜岡第一小學校ニ保存ス

藩校内ノ廣徳館ノ題額ハ東溪大夫源敏ノ筆ニカ、リ是亦同校ニ保存ス

### 報時鐘警戒鐘

寶永年間城主菅沼定門ノ時ニ之ヲ創メ寶曆年間城主松平信岑ノ時ニ改鑄セルモノニシテ今龜岡第一小學校地内櫻カ丘ニアリ

### 日露戰役記念學校博物館

郷土誌博物館ノ種類ニ屬シ龜岡第一小學校内ニアリ

### 忠魂碑

郡内出身戰病死者ノ英靈ヲ祀ル題字ハ山縣元帥ノ筆ニ成リ明治四十年三月ノ建立ニ係ル横町形原神社ノ境内ニ隣ス

### 賴政塚ノ碑

字古世ニアリ丘ヲ賴政塚ト云フ碑ハ龜山司城松平敏ノ撰文ニシテ安永年代ノ建立ニ係ル

銘曰 惟是源公之墓 骨朽名存千載安固

篠 村

葭池ノ碑 葭池塘上ニ在リ藩ノ文學中島漁ノ筆ニ成リ文政元年ノ建設ニ係ル地ハ龜岡ニアリ水ハ篠村ニ漑ク

葭池碑 柏原爲村、地勢阨陀、水潦不蓄、田多旱害、村正井内宣豊好策救物、相攸於菜黄谷、請于藩、築池塘及賜夫萬數、寛政壬子、既載操案相、甲寅春夫額盡、而宣豊没、子宣番以其欠一簣、更與村民戮力、以歲之終、告厥成、今茲戊寅孫宣篤、請有司、立碑、需銘於漁、銘曰、

維民發志、維君賜力、池塘蓄潦、禾稼乃殖、黎庶安生、永足其食、餘澤所及、彼疆此域、片石勒名、不朽厥德、

文政元年戊寅九月 藩文學 中島漁銘

尊氏旗立ノ柳

八幡境内ニ在リ元弘三年尊氏義軍ヲ舉グルノ時茲ニ旗ヲ樹テント云フ當時軍士ト共ニ矢ヲ納メシ矢塚ノ蹟今尙ホ存セリ

東 別 院 村

孝行蓮池

石門心學ノ祖石田梅巖先生誕生ノ地即チ今ノ字東掛石田勇次郎氏ノ門前數歩ノ處ニアリ方丈餘圍ムニ石ヲ以テシ中ニ數莖ノ蓮ヲ生セリ傳ヘ云フ先生ノ母角氏性蓮ヲ好ミ諸方ニ求ムルモ得ズ然ルニ先生講席ヲ開ク年一莖ノ蓮生ク花ヲ見ルニ至リシカバ母喜ブコト限リナシ是先生ガ至存ニ感シテ發生セシモノトシテ後世存行蓮ト稱ス

曾 我 部 村

金剛寺應舉ノ畫

天明八年京洛大火ノ際應舉此寺ニ寄寓シ揮毫セルモノ五十九幅ヲ藏ス内五十七幅ハ國寶ニシテ海波ノ渺々タル様ヲ描ケリ

(落合直文大人ノ歌)

その音の聞ぬのみは繪なれども

うごきて見ゆるおきつしらなみ



宮前村

金輪寺ノ勅額 一面ハ後深草天皇下賜寺號ノ勅額ニシテ一面ハ後光嚴天皇下賜寺號ノ勅額ナリ

因ニ本寺ニハ繪言ニ通及御宸筆多シ

同寺境内頼三樹三郎ノ碑 碑ハ頼復ノ書ニシテ裏面ニ絶命ノ詩ヲ刻ス蓋シ鴨涯生

前此寺ニ隠レタルニ因ミ遺髮ヲ埋メシナリ

櫻井新三郎ノ碑 櫻井氏ハ土州藩士シテ醍醐三寶院ノ修驗者ナリ夙ニ勤王ノ志ヲ抱

キ當山ニ隠ル、數年住職大橋默仙師ト親交アリ幕末ニ際シ岩倉公ノ命ヲ受ケ關東ニ下リテ行ク所ヲ知ラズ碑ハ默仙師ノ樹ツル所ナリ

畑野村

法常寺ノ勅使門其外各堂宇 勅使門ハ後水尾天皇寛永年代御創立ノ時御下賜ノ記

念建造物ナリ本堂ハ後櫻町天皇ノ勅ヲ奉テ明和九年ノ造營ニ係リ開山堂ハ光格天皇

ノ勅ヲ奉ツテ寛政五年ノ造營ニ係ル又鐘樓ハ本堂ト同時ニ建立セラレ鎮守ハ後水尾天皇延寶五年御下賜ノ建造物ナリ而シテ此等ノ多クハ特別保護建造物トナレリ只惜ム方丈ノ明治十年ニ燒失セルナリ

千代川村

千原ノ高卒塔婆 北條時頼丹波ニ行脚セル時一字一石ノ法華經ヲ書寫シ當時四街ノ

地ナル千原ノ大道ニ納メ其上ニ高サ十二間ノ卒塔婆ヲ建立シタル所ナリ

千原ノ觀音堂 平重盛ノ守本尊ヲ祀レリト云フ

操 櫻 宇小林天満宮境内ニ在リ貞婦阿長ノ家ニアリシモノト云フ(節婦ノ部參照)

旭村

五輪塔 宇美濃田元明院境内ニ在リテ三間四方ナリ周圍ニ高塀ヲ築キ正面ニ門ヲ建ツ之ヲ元明天皇ノ御陵ト口碑ス

馬路村

馬路陣屋 嘉永二年以來幕府ノ旗本杉浦氏ガ據テ以テ地方ヲ治メシ所ナリ慶應四年正月五日山陰鎮撫總督西園寺公望薩長ノ精銳各二小队ヲ引率シテ茲ニ屯シ山陰平定ノ舉ヲ成セシ所明治ノ始ノ久美濱縣ノ支應ヲ置ク數年今ノ小學校ノ一部コレナリ

二 由緒アル地名

龜岡町

追分 昔ハ岐路ノ地ナルヲ以テ「オヒワケ」ト名ケシモノ今ノ龜岡停車場附近ナリ昔ノ追分ハ今ノ停車場トナリ古今其趣チ一ニス所謂地ノ利ナルモノカ  
矢田 或ハ八田ニツケル昔ハ華山院家ノ領地ナリ三位頼政ガ射妖ノ時恩賞トシテ矢代ニ賜リテ矢田ト稱ストモ云ヘリ(頼政塚及ヒ古世地藏堂ノ條參看)

三宅 昔屯倉ヲ置ケル所ナリト云ヘリ

安行山 通稱ハ西山一名算木山安倍安行ナル陰陽師ノ住居シタル所萩ヲ以テ筵トナシ之ヲ著山トモ云フ(名勝ノ部參照)

醫王谷 國手丹波ノ康頼ノ住ミシ所ト傳フ

釋迦牟尼佛屋敷 「ニグルベ」ハ名族ナリ大字下矢田ニ其屋敷跡アリ

持養舍跡 字紺屋町ニ在リ維新前心學道場ノアリシ所ナリ

余部 和名抄桑田郡漢部郷、丹波志小川郷南宗部佐伯二郷ノ東ニ漢部ヲ書ケバ余部村ノ邊ニ當ル(大日本地名辭書)

古城 字余部ニ在リ福井因幡守ノ閑居セシ所ナリ

篠村

老坂 大枝山ニ大江山トモ云フ城丹ノ界ニアリ「大日本地名辭書」ニ延喜式ニ載スル驛名大枝ハ丹波ノ口ノ道ニ當ル蓋後ノ篠村宿ニシテ即大枝山ノ西北麓トスト録ス

古歌ニ

大江山かたふく月の影さゆて

鳥羽田のむらに落つるかりがね

夫木抄 顯昭法師

君が代にあふうれしさは大江山

ます井の水のた、ほどぞ思ふ

老坂 頼山陽

纒過一坂是丹波、昨雨乾時泥雜沙、燕語呢喃留客住、李花林裡十余家、

等ノ詩歌存ス

昔ハ坂路崎嶇トシテ京洛ノ要害ヲナシ城丹ノ交通爲ニ不便ナルモノアリ然レドモ山陰

諸侯ノ江戸ニ出ヅルモノ皆コレニ依レリキ

櫻田村

黒柄岳

宇杉生ニアリ昔大國主神此山ヨリ泥湖(丹波ノ地大古水底ナリシト傳フ)

ヲ望ミ給ヒシト傳フ

東別院村

小

泉

字名ナリ小式部ノ「小」ト和泉式部ノ「泉」ト合セテ名ヅケタリト云フ和泉式部ノ生メル女ナ村人ノ養育セシト云フ口碑アリ

西別院村

萬願寺

今ハ字名ナレバ往古ノ大伽藍湯谷嶽ノ萬願寺ニ因メル名ナリ

蕨田野村

佐伯ノ芝又院ノ馬場 芝ハ龜岡藩ノ訓練場ニシテ院ノ馬場ト云フハ孝謙天皇御乘馬ノ所ナリト云フ

湯ノ花 往古温泉ヲ出セシト云フ今尙ホ其形跡アリ  
菰川 明智光秀ガ神藏寺ヲ燒キ本尊樂師ヲ菰ニ包ミテ此川ニ流セシト云フ

本梅村

加<sup>カ</sup> 舎<sup>ヤ</sup> 字名ナリ昔ハ柏村ナリシテ寛文中近衛關白勅使トシテ畑野村法常寺へ

行カセラル、際御舎ヲ加ヘラレシニヨリ今ノ字ニ改ム

判<sup>ハ</sup> 官<sup>クワン</sup> 敷<sup>シ</sup> 字西加舎久保カ原ニ在リ源義經越攻落シノ際通過セシ所ト傳フ  
萱<sup>ウナ</sup> ノ 辻<sup>ツジ</sup> 字東加舎ニアリ義經通過ノ際馬ニ水ヲ飼ヒシ所ナリト傳フ

大井村

大 井 各字共ニ大井神社ヲ氏神トナスヲ以テ此名アリ

千代川村

北條時頼ノ許ヲ受ケ後ニ課税セシニ因ニ名ツク

後ニ川税ヲ取リシニヨル

湯<sup>ユ</sup> 今<sup>イマ</sup> 川<sup>カハ</sup> 關<sup>カニ</sup> 津<sup>ツ</sup> 井<sup>イ</sup> 往古温泉ノアリシト傳フ

馬路村

三<sup>ミ</sup> 日<sup>ニチ</sup> 市<sup>シ</sup> 往古國分寺隆盛ノ頃外門ニ當リ月ノ三日ヲ期シ物ト物トヲ交換セシ所ナリト傳フ

旭村

旭<sup>アサ</sup> 村 旭ノ字ハ九日ガ鎮守祭日ナリシニ因ル

千歳村

國<sup>クニ</sup> 分<sup>ブン</sup> 字名ナリ國分寺ニ因ム  
毘<sup>ヒ</sup> 沙<sup>シャ</sup> 門<sup>モン</sup> 字名ナリ往古國分寺ノ正門ニ當リ毘沙門天ヲ祀リシ所ナリト傳フ

### 三、碩學、偉人傑士等ニ關スル事項

#### 龜岡町

松平信庸 藩主ナリ京都所司代トナリ寶永五年皇宮火アリ信庸機宜ノ謀ニ出テ玉體ヲ安シ奉リ爾來御所近火ノ際ニ所司代及ヒ禁裡附武家ニ限リ騎馬ノ出入ヲ許サル因ニ當時信庸ニ給ヒタル下馬牌ハ形原神社ノ神寶タリ

莊田琳庵 通鑑ヲ講スルノ故ニ藩ニ聘セラレ榊臣ノ專權ヲ斥ケントシテ却テ讒ニアヒ延寶二年奕市セラルル絶命ノ詩アリ曰ク

迥慕胡忠簡 英名萬古流 浩然同正氣 一笑隕儂頭

松崎白圭 伊藤東涯、物徂徠ニ學ビ松平家ニ臣事シテ常ニ讒言ヲス、ム寶曆二年江戸ニ歿ス

山脇東洋 本姓清水氏龜山ニ生レ江戸ニ出テ儒醫トシテ傑出シタルコト三アリ一ハ古學ヲ唱道セシコト二ハ前人ノ著述ヲ翻譯セシコト三ハ解剖學ヲ主トセシコトナリ實

曆十二年卒ス深川ニ葬ル

中嶋雪樓 名ハ源龜山藩ノ儒者ナリ著ニ雪樓詩集アリ

皆川淇園 博學強記ニシテ書畫ヲ能クシ龜山藩ニ筮任ス其子孫録ヲ藩ニ受ケ世々儒臣タリ故郡長皆川惇氏ハ其ノ後裔ナリ

(本郡教育會編「鴻儒皆川淇園」ニ詳ナルヲ以テ之レヲ略ス)

丹波康賴 其ノ祖ハ後漢ノ靈帝ニ出テ康賴ニ至リ矢田ノ莊ヲ賜リ丹波ノ宿稱ト稱シ丹波ノ姓茲ニ始マル醫博士トナリ永觀二年醫心法三十卷ヲ奉ル今ノ醫王谷ハ其ノ領地ナリ

富松萬山 陽明學者ニシテ春日階庵ハ其ノ門人ナリ萬山ノ養子牧鳳州アリ判事トナル

奥平家 惇古大夫(奥平與三左衛門ト云フ姫路ノ河合隼之助、桑名ノ土方鑑殿之助ヲ合セ日本三家老ト云ヘリ大夫天保七年ニ歿ス)支族翁山、枕山、小太郎、(遜齋)等代々賢明ニシテ陽明學ニ精シク碩學ノ士多シ

藩 儒 松崎觀海(松崎蘭谷ハ龜山藩主篠山ニ在ルノ時之ヲ仕フ)、三上龍山、河

南南畝、荒川白雲、塀和芳雷、倉橋江聲、兩角王溪、足立竹亭等儒者トシテ又詩書ヲ能クス

書家 畫家 石川枝山、笠城丹嶺、小谷文麟、齋藤竹處、小島夕佳、日比拜山、吉弘棗園等書畫ニ名アリ

歌道 俳諧 神門全瓦、文旨舍芝蘭女史、老々庵野揚師(輕森代右衛門)北川櫻桃庵、湧瀧、奥田九華(畫家天門ノ先)大智法印寬純及寬隆(景樹門人)等風雅ノ道ニ妙ナリ  
郷土誌著者 矢部八郎兵衛(號ス)ハ桑下漫錄ノ著者ニシテ鹽ノ魚ハ翁ト他一翁トノ合著ニ成リ共ニ郷土ノ史料タリ

深海龜年翁 龜井南溟頼山陽等ト親交アリ勤王家ナリ其ノ子鑿水學ニ志シ維新ノ際久美濱縣ノ大風ニ任セラレ同族皆山ハ歸隱ナリ書畫ヲ能クス

篠 村

栗山 蕉夢 天明年代ノ人ニシテ五日庵ト云フ其子扶風景樹ノ門下ニシテ歌ヲヨクス

東 別 院 村

石田 勘平 名ハ興長、梅巖ト號ス貞享二年九月十五日字東掛ニ生レ廿三歳ノ時京ニ出テ商家ニ仕ヘ其間修養ヲ積ミ四十五歳ニシテ講席ヲ開キ延享元年九月廿四日六十歳ヲ以テ歿ス石門心學ノ開祖ニシテ大ニ庶民教育ニ盡ス所アリ

曾 我 部 村

圓山 應舉 字穴太ニ生レ京ニ出テ畫ヲ狩野友汀ニ學ビ而カモ出色アリ遂ニ寫生畫ノ一家ヲナス

薄 田 野 村

大石 秀實 字佐伯ノ人ナリ江戸ニ出テ、學ヲナシ龜山藩ノ儒臣トナリ維新后文部助 教諭中學校長等ニ歷任シ明治三十一年八月十一日歿ス

宮前村

林叟和尙

字猪倉養玄寺ノ禪僧ニシテ書畫ニ巧ミナリ

大橋默仙

金輪寺ノ住職ニシテ喝蟾ト號ス性豪放夙ニ勤王ノ志ヲ抱ク梁川星巖、頼

三樹三郎、櫻井新三郎等ト最モ親交アリ(精シクハ國民新聞社維新史料ニアリ)

岡本遷山

明和年間大字宮川ニ生ル大字ヲ能クスルヲ以テ名アリ

大井村

並河天民

享保年代字並河ニ生ル京ニ出テ、大儒トナリ遂ニ一家ヲナス

千代川村

人見久兵衛

馬路ノ人企業ノ心ニ富ミ經濟ノ術ニ長シ利用厚生ノ途ヲ説キ民風ヲ改メ

荒蕪地ヲ開墾シ大字今津ノ耕地ヲ造ル事ハ正保年代ニ屬ス

雪峨和尙

宗福寺ノ僧ニシテ畫ヲヨクス

長谷川耕巖

頼支峰ノ門人書ヲヨクス

千歳村

安藤龜女

朴翁ノ妻ナリ父道夢居士連歌ヲ能クス幼ヨリ敏慧父ニ從テ和歌ヲ學ビ又

織縫ノ術ニ達ス朴翁ノ母其ノ名ヲ聞キテ請ヒテ朴翁ニ娶ハス龜女藝掖ニ出入シテ屢々

歌宴ニ侍ル後水尾、明正阿天皇呼ブニ今式部ヲ以テシ給ヒ寵遇甚ダ厚シ寛文八年歿ス

年三十九中ノ院大納言通茂卿其ノ遺集ニ題シテ今式部家集ト云フ

安藤素軒、年山

兄弟ハ、安藤龜女ノ子、共ニ水戸藩ノ儒臣トナリ其餘ヲ食ム、年山

遺著殊ニ多シ

因ニ安藤家ニシテ文ニ武ニ偉人多キモ茲ニ之レヲ略ス

兒島備源

出雲神社ノ宮司ニシテ國學ノ造詣深ク又歌ニ巧ミナリキ

保津村

村上 半山 儒醫ナリ半山勤王ノ志アリ刀圭ノ餘事詩畫ヲヨクス其ノ子性山學ニ篤クシテヨク父祖ノ業ヲ繼キ維新ノ際府ノ驛遞局長トナル

元

#### 四、忠臣、孝子、節婦、義僕ニ關スル事項

龜岡町

孝子 某 寛文中一農夫アリ父母ノ死後孝ヲナスニ道ヲシトテ其像ヲ氏神ノ傍ニ

安置シ風ノ長雨ノ夕生ニ仕フル如キコト三年領主共至孝ヲ賞シ田租ヲ免ス

深海善左衛門 寛政、文化、ノ頃ノ人公共ニ盡ス其事蹟ハ西光寺(安町)ノ碑文ニ詳ナ

篠村

井内太左衛門 太字柏原ノ人ナリ常ニ人ヲ愛撫シ公益ヲ廣ムルヲ務ム、護池ハ此人ガ

官ニ建言シ助役ヲ得テ築キン所ニシテ柏原及淨法寺ノ部落永ク其利澤ヲ受ク(護池ノ碑参照)

櫛田村

田村新太郎

字杉生ノ人幼ニシテ父ヲ喪ヘルモ能ク家業ヲ勵ミ母ニ仕ヘテ至孝藩主ヨリ褒賞ヲ受ク

西別院村

孝子門七 明和安永ノ頃牧村ニ住ミ父ニ仕ヘテ至孝一家和睦シ近隣其徳ヲ稱ス

吉川村

孝女

關 父母ニ仕ヘテ至孝官之ヲ賞シテ金ヲ賜フコト兩回少フシテ寡婦トナリ貧窮幾十年年七十ニシテ猶傭耕、出入蠶星嘗テ病ヲ言ハズ人喜ヒ迎ヘ傭ニ賃ス一日忽チ

一元



遠行セント別村人ニ告ク人々之ヲ惜ミ其故ヲ問フ答ヘズ唯夕首ヲ垂ルノミ既ニシテ家ヲ出ツ人其何レニ向ツテ上途スルヲ知ラズ後三日屍ヲ水上ニ浮ブ村人驚キ且ツ嘆キ彼ノ家ヲ搜索シ架上遺書ヲ得タリ曰ク「其家西瓜ヲ失フアリ畢竟我貧ナルノ故ヲ以テ惡聲路上ニ喧シ我貧ト雖モ實ニ未ダ盜ムヲ知ラズ苟モ少シク偷ヲ解スレバ何ヲ飢寒ヲ守リテ白頭ニ到ラン七十老婆筋力ナク辛苦備耕スル果シテ何ノ爲ヲ今却テ之ヲ以テ犯罪ノ因トナシ横ニ非行ヲ加フ一死自ラ明ニスルアルノミ」ト集ルモノ各悲ミ且評ス

關女性溫和物ト争ハズ寡黙ニシテ行ヒ篤ク死シテ不義ノ名ニ居ラザル如キ男子寧ロ耻ヅベキヲ思フ

蕪田野村

節婦すて女、其子彌七 すべて女ハ文政年代ノ人貞操ヲ守リ又克ク母ニ事フ其子彌七亦母ニ事ヘテ至孝且ツ家業ニ精勵シ母子共ニ藩主ヨリ賞ヲ受ク

宮前村

森與市 西神前ノ人文政年代ニ生ル性純孝ニシテ勤儉力行ノ道ヲ里人ニ示シ藩ノ褒賞ヲ受ク

本梅村

孝子岩藏 安政年代ノ人宇西加舎ニ住ム資性温順ニシテ孝心深クヨク病父母ニ事ヘ數年一日ノ如シ藩主賞ヲ賜ヒテ之ヲ表ハス

貞婦みよ女 宇西加舎ノ人ニシテ小玉氏ナリ病夫ニ事ヘ又ヨク其家政ヲ治ノ且ツ婦人ノ身ヲ以テ九段余ノ耕地ヲ耕セルガ如キ今尙ホ里人ノ傳フル所トナル

孝子森寅藏 宇西加舎ノ人京都ニ生レ幼時音信不通ニテ森家ニ養ハル家固ヨリ貧ナリ性從順ニシテ能ク父母ニ事ヘ又能ク家業ニ勵ム養母性懶惰ニシテ家業ニ冷淡ナルモ寅造少シモ之ヲ悔マズ農繁ノ際ニハ平生得タル利潤ヲ以テ人ヲ雇ヒ自ラ率先シテ稼穡ニ努メ夜ハ父母ノ心ヲ慰メ或ハ按摩ヲナシ二十六歳ノ時(安政五年)大夫巡視ノ際賞金ヲ

受ク寅造今年八十二歳ニ及ブモ天此ノ人ニ幸シ嬰饒尙ホ衰ヘズ細ヲ絢ヒ草履ヲ造リ或ハ田畑ニ草ヲ刈ル等日々家業ノ手助ヲナシツ、アリ

### 千代川村

節婦 阿長 字小林木匠久助が妻ナリ其ノ夫江戸ニ出テ音信不通ナルニ能ク貞節ヲ盡シ又克ク二兒ヲ育テ二十年ノ久シキニ及ビ天文三年壽ヲ完フシテ歿ス

操櫻碑銘

操櫻在丹波國桑田郡小林村。龜岡城近境也。昔村有一木匠名久助者。妻稱阿長生二女。家道頗難。久助年壯無賴。親族規之不悛。阿長惇勤備至。久助適聞江戸大火版築多利。遽去。至三歲不返。杳無消息。阿長聞夫更娶婦。託人蹤跡。不知其所在。阿長謂婦道居守無佗是常耳。持節不渝。經理彌力。庭有一櫻樹。久助平生所愛也。以故阿長視樹猶視夫。培植保護甚至。且以夫之去日爲忌辰。拜奠莫懈。長女夙歿。獨與幼女居。備極艱楚者數歲矣。及其病卒。櫻樹亦枯。人以爲奇。因名其樹稱操櫻。實天文五年庚申夏四月也。後櫻樹復生人皆尙愛。移諸天滿社。至

今尙存云。龜山藩士長谷川子容語予曰。此事載在關田隨筆。炳焉彤管。不可不傳。然花木有時乎枯。不朽者文也。予將與父老胥謀。勅諸温珉。以示永久。願先生記之。予謂花乎有神。化爲美人。婦也不貳。善有其身。同類相感。德必有鄰。記之銘之。流芳千春。

明治三年庚午花朝日

皇都大學教官 櫻老 加藤潤撰

善行者永田五右衛門 文化十三年字千原ニ生ル父母ニ事ヘテ孝農ニ出テ、勤勉遂ニ

藩主ヨリ賞ヲ受ク

### 旭村

孝子せき女、善之助 兄弟ナリ共ニ天性至孝姉ハ祖母ニ弟ハ祖母並ニ父母ニ事ヘテ常ニ力ヲ盡シ養ヲ致シ共ニ地頭ノ賞スル所トナル事ハ文化年間ニ屬ス

### 河原林村

善行者平之丞 延享年間ノ人小作ニ出精シテ惡田ヲ良田ニ化シ天災地變ニ遭ヒテ納租ヲ變ヘス兄弟協力ヨク家産ヲ興シ藩主ヨリ模範百姓ト賞揚セラレテ字勝林島ノ人ナリ  
八木力藏 字勝林島ノ人文化年代ニ生ル兄弟戮力家政ヲ治ノ又ヨク父母ヲ慰メ領主ノ旌表ヲ受ケ

## 五、古戰場及古蹟等ニ關スル事項

### 龜岡町

安行塚 (加塚ニアリ) 七字ノ題目ヲ彫リタル石塔アリ安倍安行ノ墓トモ云ヒ又安行山ト云ヘル寺ノ舊地ナリトモ云ヘリ  
光忠寺ノ墓地(字古世) 光忠寺ハ寶林山ト云フ徳川將軍歴代ノ靈牌ヲ安置ス此境内ニ藩主松平家ノ祖家信公以來歴代ノ墓アリ  
壽仙菴(字本町)小野木ノ墓 小野木公知(福知山城主)ハ關ヶ原役ニ石田三成ヲ

助ケテ徳川氏ニ抗シ戦後前田玄以ナ介シテ降、乞ヒ許サレヌシテ死テ賜ハリ此ノ菴ニ自裁ス墓アリ碑ヲ建ツ

昌壽院(猪坂町)楠ノ墓 正成十一世ノ孫通稱周防ノ墓ト云フ碑アリ(碑文ニ正行ノ妻ハ丹波三宅ノ産ニシテ關政實ノ女ナリ云々)

宗堅寺(西堅町)ノ墓 菅沼定房其ノ子忠昭共ニ藩主ノ碑アリ

忠武傳古府君、好古府君、節道府君 與平翁山、同枕山、及與平小太郎(遜齋)ノ墓アリ、石井兵助(大仙院明道智白居士)ノ墓ト言ヘルモアリ

西光寺 (安町ニ在リ安行山ト云フ)

深海氏ノ墓 善左衛門ハ寛政、文化ノ頃、ノ善行者ナリ

碑ハ阿波ノ文學藤原憲ノ撰ニ係ル善右衛門ハ勤王家ナリ頼三樹三郎等ト親交アリ

專念寺 塩屋町ノ墓 東溪府君ノ墓アリ碑ハ皆川恩ノ撰文ニ係ル府君諱敏字子求新祐

ト稱シ龜山侯ノ族大夫也寛政二年ニ歿ス

銘曰、能文能武學皇寡儻通道達政才實又優天不假年邦哲隱休名存不朽可傳綿悠形魄既斂永安斯丘。

清教攝入ノ墓アリ東溪府君ノ配ナリ碑ハ中島漁ノ撰文ナリ  
桑州府君ノ墓アリ又龜山侯ノ族大夫ナリ碑文ハ兩角融ノ撰ニカ、ル

篠村

峠ノ首塚 老ノ坂ニ在リ酒頗童子ノ首ヲ埋メタリト傳フ

東別院村

梅巖先生ノ墓

先生ノ後裔石田勇次郎氏ノ屋前數十間山麓ニ沿ヒ樹木蒼鬱タル所數基  
ノ石碑アリコレ石田家累代ノ墓地ニシテ中ニ先生ノ碑アリ碑面背裡左ノ文字ヲ視ル。

延享元年

石田勘平

九月二十四日

萩田野村

皇子塚(佐伯) 此邊時ニ土器ヲ出ス口碑ソレモ之ヲ略ス

内裏塚(鹿谷) 茶ノ木山ニ在リ俗ニ武烈天皇ノ御陵ト云フモ詳ナラズ

宮前村

神前小字北山ノ古戰場 八木ノ城主内藤備前守ノ據テ以テ明智光秀ノ大軍ヲ防ギシ

所ナリト云フ

本梅村

西加舎ノ城山 泰與兵衛ノ丞ノ城趾ニシテ明智光秀ノ爲ニ滅ボサレタル古戰場ナリ

平松ノ城山 森美作守ノ城趾ニシテ同上ノ古戰場ナリ

馬路村

馬路ノ車塚ト饅頭塚 車塚ハ致遠小學校ノ東方約四町出雲神社ニ至ル道ノ南側ニ在  
 リ周圍約百三十間ナ有シ二丘南北ニ連ル南丘高クシテ大ニ北丘ハ低クシテ小ナリ全部  
 芝生ニシテ樹木ヲ生セズ塚ノ四周低キ所今ハ田ト成セリ其幅四間乃至十間ニ及ブ  
 饅頭塚ハ字三日市方面ニ大小數箇散在シ大ナルハ周圍五十間ニ及ビ小ナルハ其半バニ  
 近シ

### 六名勝舊蹟

龜岡町

龜山城 天正年間明智光秀ガ龜賀城ヲ築キシヨリ明治年間ニ及ヘリ五重ナリシ天

主ノ跡ニハ公孫樹ノ矗立セルアリテ昔ヲ語ルモノハ如シ(卷頭插畫參看)  
 龜山城主歴代表左ノ如シ

城主 居城年數 備考

明智光秀	七ヶ年	
城代堀尾山城守吉晴	一年	
羽柴小槻丸	三年	此時町屋建ツ
羽柴少將豊臣秀勝	七年	
金吾中納言秀秋	二年	此時天守三重ヲ五重ニス
石田治部少輔三成	一年	
前田徳善院玄以	七年	此時總城構出來
前田主膳正	一年	
城代北條安房守	一年	
城代榑田小三郎	七年	此時内濠出來
岡部内膳正長盛	十三年	此時當城再修繕成
松平右近將監成重	十三年	
松平主膳正昭	一年	
菅沼織部正定芳	十三年	

菅沼左近太夫定昭 四年  
 松平伊賀守忠晴 十三年  
 松平伊賀守忠昭 十四年  
 松平伊賀守忠周 三年  
 久世出雲守重之 十一年  
 井上大和守正峰 七年  
 青山因幡守忠重 十一年  
 青山伯耆守俊重 十四年  
 青山伯耆守忠知 十八年  
 松平紀伊守信岑 十四年  
 松平紀伊守信直 十八年  
 松平紀伊守信道 十年  
 松平紀伊守信彰 十年  
 松平紀伊守信志 十五年

笹山へ所替  
笹山御入城(寛延三年)片原神社(祭神)

松平紀伊守信豪 二十七年  
 松平豊前守信義 二十三年  
 松平圖書守信正 四年

慶應二年ヨリ明治二年迄

寛延二年ヨリ明治二年迄百二十一年間松平家御居城  
 明治二年六月十九日龜岡ト地名替仰出サレ

因ニ記ス、舊城天守ハ五重ニシテ高サ十四間四分九厘、其下重ノ疊數百六十七疊八分第五層二十一疊九分六厘ニシテ石垣高サ西北角二間二尺五寸、東南角三間三尺五寸ハ別ナリシ

走田神社 式内ナリ三神ヲ祀ル中座ハ葺不合尊ナリ御童形ナリトカ龜岡安町以西ノ産土神ナリ

矢田大満宮 樓門古雅ニシテ境内風致ニ富ム

矢田神社 式内ナリ歟山宮ト云フニ大國主神ヲ祀リ別ニ八幡宮アリ歟山宮ニハ古代ノ歟ヲ神寶トナス其ノ他古文書多シ

此ノ社ハ藩主ノ崇敬アリシヲ以テ社殿ノ設殊ニ備ハリ毎年十月二十五日渡御祭ニハ神

興ノ渡御山鉾ノ行列今猶古例ヲ存ズ社地ハ山ヲ負ヒ池ヲ擁シ川ニ臨ミ春櫻秋楓共ニ見ルベク社ヲ圍ミテ矢田八景アリ

天岡夏雲

天岡ノ高根をひゆるしら雲に

ふもとの松はすゞしかるらん (恭房)

社頭丹楓

宮人のあさぎよめするひろまへは

もみぢもちりにまじらざりけり (懿)

大枝涼月

なつしらぬおはねのやまにかけみちて

すずしき風の月にふくなり (法俊)

桂峯朝霞

かつら山まつのみせりにあきはへて

ふかき霞の見ゆるけさかな (静子)

愛宕初雪

朝雲のたねまに見ればあたご山

あはとばかりにふれる初雪 (清風)

保村歸鷺

くれ渡るはつの山ざと白鷺の

歸る行衛は見ぬにけるかな (景寄)

年山液雨

しくれの雨ふれどもふれどかはらぬは

ちとせの山の姿なりけり (洞流)

龜城秋霧

君か代の千とせをこめてかめやまの

きりの中にぞあらはれにけり (惠明)

即チ是レナリ

聖ミヤコが芝(宇余部) 古城ノ北裏ニ在リ高野ノ聖ガ津子王丸ヲ救ヒテ脊負ヒ來リ葛籠

ヨリ出セシ芝ト云フ今ハ水田トナレリ

著山公園(由緒アル地名ノ部参照) 眺望佳絶南桑ノ平野一眸ノ内ニ在リ稻荷ノ祠アルヲ以テ賽者亦多ク加フルニ近來龜岡老人會ガ植エタル櫻楓數千ハ永ク此山ノ風致ヲ添フベシ

鼓か 瀧(上矢田) 院ニ副フテ瀧アリ其音ニヨリテ鼓ガ瀧ト名ヅク陽雲院ニハ八十

八休ノ弘法大師ノ石像アリ

三宅ノ野橋立 龜岡ノ東境年谷川ニ副ヒテ松並樹アリ霧ノ晨雪ノ夕、殊ニ風致ニ富ム有名ナル三蓋松ハ此ノ内ニ在リ(挿畫參看)

篠 村

八幡宮 字篠ニ在リ足利尊氏義軍ヲ舉ゲタル古蹟ニシテ社ニ尊氏ノ祈願書ヲ藏ス

王子ノ櫻並樹 老ノ坂ニ至ラントシテ王子アリ里ノ東端櫻堤數丁ニ亘リ春時花ノ隧道

チナス花ヲ賞シテ眼鏡橋ニ至リ更ニ松風洞ニ至ラバ鐵路開通前ノ城丹交通ノ跡ヲ偲ブト共ニ一日ノ清遊チナスニ足ル

西別院 村

古城跡(笑路) 村ノ良ノ方山上ニアリ松尾ノ城ト云フ長澤因幡守ノ居住セシ所ナリ

曾我部 村

石凝(法貴谷) 西別院ニ至ラントシテ法貴谷アリ巨岩奇石磊々トシテ谷ヲ埋メ

頂ニ及ブ春ノ櫻、夏ノ藤、雅人ノ杖ヲ曳クニ足リ加フルニ石質良好ニシテ建築ニ適ス

穴居ノ跡 石瀧ノ近傍ニ在リ

蕨野田 村

穴居ノ跡 鹿谷ニアリ

丸ヶ城古跡 鹿谷ニアリ

畑野 村



法常寺(梅山八景、大梅十二景) 勅願法常禪寺ハ大梅山ト號シ寛永八年一絲和尚

(佛頂國師)ノ開基ニシテ龜岡ヲ距ル三里二十七町字千ヶ畑ニ在リ歷代天皇ノ靈牌ヲ奉

安シ法燈益榮エ先年伏見宮文秀女王ヲ台駕アラセラレタリ

寶物重器甚ダ多ク(歷代御下賜ノ御物四十餘點及和漢ノ書畫法帖舉ゲテ數フベカラズ)

一度之ガ展觀ヲ望マバ脱塵出俗ノ清玩ヲ此靈域ニ於テ恣ニスルヲ得ベシ

寺ノ四圍ハ群峯羅列シ仙風道氣自ラ備ハリ北ニ半園山アリ南ニ劍尾山アリ地ハ高クシ

テ人家ヲ離レ茂林鬱鬱、シテ幽邃ナリ

堂ノ前ニ當リ一大奇岩アリ萬年岩ト云フ巖下ニ清泉アリ一橋ヲ架シテ帶錦橋ト名ヅク

春ハ鶯語宛轉、夏ハ綠樹交柯而シテ楓葉燦爛タル秋 積雪玲瓏タル冬、四時ノ景教皆

清趣アリ國師ノ來レハ蓋偶然ナラズ

梅山八景

九路樵歌 千村春雨 桐江山川 竹徑野梅

屏嶺新晴 聖岩老樹 創峯臘雪 帶水流螢

大梅十二景

九路峯 千偈水 降天室 即心軒

聖者岩 伽藍廟 荷衣沼 松花堂

飛雲嶺 受玉林 桐江庵 羅浮苑

伏見宮文秀女王

彌たかきとしへのみちは幾千代も

つねにか、やく法のももし火

近衛内前公

今日こゝにとひきていとあふくそよ

見のりの常にたねぬ山寺

千 歲 山 古歌に

まさごよりいはねになれる千歲山

こや君か代のためしなるらん

海拔二千四十六尺巍然トシテ郡ノ東方ニ聳ヘ山嶺ヨリ京都東山ヲ望ムベク眺望絶佳ナ  
リ安藤維翁千歳山八景ノ撰アリ安藤年山ノ號此山ニ因ス山麓ヨリ硯石ヲ産シ其額一千  
數百圓ニ及ブ

水戸黄門ノ歌ニ

あしびきの山はちとせの名もしるく

よく世の春をかすみこむらん

### 出雲神社

龜岡ヨリ一里餘ニシテ國幣中社出雲神社アリ丹波一ヲ宮ト云フ和銅二年  
ノ建立主神ハ大國主神ニシテ出雲大社ヨリ此ノ地ニ遷座セラレ相殿ニ三穗津姫神崇盛  
鳴尊ヲ祀ル明治四十二年ニハ千二百年祭ヲ舉行セリ

社頭ノ壯麗年山ノ奇勝ト相對ス龜岡驛ヨリコ、ニ至ルニ出雲神社道アリ

### 保津村

### 保津川ノ奇勝

龜岡驛ヨリ東北數丁保津川ノ清流アリ此所ヨリ嵯峨ニ至ル

溪流三里其間或ハ急激飛瀑ヲナシ或ハ涼々懸泉トナリ時ニ蒼々ノ水光萬古ノ色ヲ留メ

テ絶嶺ノ間ニ行ク鐵路河畔ヲ馳セ隧道ヲ出入シ陸ト水ト山峽幽寂ノ情異他ニ其比ヲ見  
ス保津川濱ヨリ舟下スルコト半哩碧洋々タル地藏ガ淵ヲ越エテ溪谷ニ入ル山險ニシテ  
流レ急、怪岩絶壁ヲナシテ兩岸ノ巨巖彫レルガ如ク羅列シ松杉雜樹高ク懸リ躑躅ノ影  
水ニ映シテ千景萬色轉メ走ルガ如シ、宮ノ下ハ最初ノ急湍ニシテ輕舟汎々深藍初ノテ  
碎カレ急轉直下其爽快名狀スベカラズ、嵯峨ニ至ル間激湍緩流交替去來殆ソド送迎ニ  
違ナシ

此ノ急流往昔ハ唯筏ヲ通ズルノミナリシガ爲ニ保津嵯峨ノ交通甚ダ不便ニシテ或ハ山  
ヲ越ヘ谷ヲ渡リ辛クテ相通ワタリ其後慶長十一年角倉了以翁之ガ開鑿ヲ圖リ廣クシテ  
淺キ所ハ石ヲ壘ミテ之ヲ深クシ河床ノ傾斜急ニシテ飛瀑懸泉ノ甚シキモノハ其上上下下  
鑿チテ水準ヲ計リ暗礁ヲ掃シ巨巖ヲ曳キ茲ニ始メテ舟楫ノ利開ケ貨物ノ運搬漸ク自由  
ナルニ至レリ實ニ今ヲ去ルコト三百餘年ノ昔ナリ爾來世運ノ進歩ト共ニ交通益繁劇ナ  
加ヘ鐵路開通内外貴紳ノ此奇勝ニ舟ヲ行ルモノ常ニ絶エズ  
何レノ時代何レノ人ヤ名ケ、ノ怪巖巨石ニ命名セルモノ甚多ク皆ソノ形象ニ因レルモ  
ノ、如シ試ニ其主ナルモノヲ舉グレバ

坊主石 手鞠岩 烏帽子岩 車 岩  
 鏡 岩 八疊岩 屋根岩 茶屋石  
 三つ石 蛙 岩 せめき岩 犬 尻  
 腰の岩 象の鼻 蜂の巣 七つ石  
 金が石 徳任の大岩 屏風岩 獅子舞岩  
 時雨岩 書物岩 蓮華岩 高麗犬  
 赤 岩

等ナリ

手松山 龜岡ノ安行山ト對シテ南桑平野ヲ瞰下シ尙ホ遠ク城南ノ平野ヲ展望スル

ナ得ベシ山頂ニ琴平ノ社アリ山ヲ丹波宮土上云フ

愛宕ノ靈山 城丹ノ境ニアリ直立二千五十尺龜岡驛ニ下車シ保津ノ巻ヲ横斷シテ愛宕

神社ニ詣テ山城饅頭ニ下ルヲ得ベシ西坊威徳院ノ如キ明智光秀ノ史蹟ヲ存ス

### 七神社佛閣

三宅神社	龜岡町字猪ノ坂
伊達神社	同 町字宇津根
形原神社	同 字横町
鉄山神社	同 字上矢田
走田神社	同 字余部
大圓寺	同 字西町
稱名寺	同 字突抜
嶺樹院	同 字西堅

村社式内稻荷三神ヲ祀ル稻荷垣内ノ名アリ 孝徳天皇ノ御代屯倉ヲ置カレタルモノナリ

式内ナリ寶藏寺ノ境内ニ在リ

明治十四年創建藩主松平信岑侯ヲ祀ル社名ハ三河國寶飯郡形原ノ地名ニ取ル蓋シ藩祖旗ヲ舉グルノ地ナレバナリ

郷社ニシテ式内ナリ 大國主神ヲ祀リ別ニ八幡宮アリ

郷社ニシテ式内ナリ三神ヲ祀リ中座ハ葺不合尊ナリ

淨土宗ナリ鏡智山ト云フ本尊阿彌陀如來ハ惠心僧都ノ作ナリト云フ

淨土宗ナリ最勝山ト云フ本尊ハ運慶ノ作ト云ヒ庚申堂ノ本尊ハ聖徳太子ノ御作ト云フ此寺ニ和泉式部ノ別塔アリ 禪宗ナリ大龜山ト云フ半身達磨ノ像ハ顔輝ノ筆ナリト云ヘリ

西願寺	同	字柳町	淨土宗ナリ柳町ノ觀音ト通稱ス名工定朝法橋ノ彫リシ觀音ハ數年前ノ火災ニ燒失セリ
古世地藏堂	同	字横町	源二位賴政ノ守本尊蓮慶ノ作ト云フ
地藏院	同	字北町	如意山ト云フ本尊ハ傳教大師ノ作ト云ヒ中島瀨ノ靈像記アリ
聖隣庵	同	字東堅	觀國山ト云フ境内毘沙門堂ニハ明智光秀ノ尊崇セル尊像アリ、蓮慶ノ作ト云フ此寺ニ織田信長ノ首塚ト稱フルモノアリ
桑田神社	篠村字山本		村社大山昨尊ヲ祀リ式内ナリ
村山神社	同	字森	村社式内ナリ
王子神社	同	字王子	村社ナリ
八幡神社	同	字篠	村社ナリ應神天皇ヲ祀ル室町幕府ノ時殊ニ崇敬セラレタルモノナリ
櫻船神社	櫻田村字田能		村社ナリ大國主神ヲ祀ル

皇太神宮社	同	字中畑	指定神社ナリ
鎌倉神社	東別院村字鎌倉	村社ナリ	
素盞鳴神社	同	字南掛	指定神社ナリ
春日神社	同	字東掛	同上
天滿宮神社	同	字柏原	同上
多吉神社	西別院村字柚原	村社ナリ	
大宮神社	同	字萬願寺	同上
太歲神社	同	字收	同上
大歲神社	同	字寺田	同上

松尾神社	同	字大甘野	同上
素盞鳴神社	同	字笑路	同上
與能神社	曾我部村字寺		郷社ナリ事代主神外三神ヲ祀ル崇神天皇ノ御宇將軍道主命ノ創立ニ係ル
小幡神社	同	字穴太	村社ニシテ開化天皇外二神ヲ祀ル管領細川政元神殿ヲ改造セリ
八幡神社	同	字中	指定神社ナリ
天満宮神社	同	字犬飼	同上
穴太寺	同	字穴太	西國二十一番札所ニシテ天台宗ナリ本尊ハ藥師如來慶雲二年大伴大臣古曆此寺ヲ創立ス
金剛寺	同	字穴太	禪宗ナリ正應二年佛國々師ノ開基ナリ此寺ニ圓山應舉ノ壽五十九幅ヲ藏ス
山王寺	同	字犬飼	最明寺時賴行脚ノ時此寺ヲ建ツ天台宗ナリ

藤田野神社	藤田野村字佐伯		式内郷社ナリ祭神ハ保食命外二神ヲ祀ル和銅二年ノ建立ニ係リ神事ニ所謂佐伯燈籠ノ古例アリ
河阿神社	同	字柿花	指定神社ナリ
櫻天神社	同	字同	境内櫻石(學名葦成石)ヲ出スヲ以テ名アリ
神藏寺	同	字佐伯	禪宗ニシテ朝日山ト稱ス後山ノ瀧ニ石而不動尊アリ神藏寺ノ奥ノ院ト呼ブ
獨鈷拋山千手寺	同	字鹿谷	禪宗ニシテ大同二年弘法大師ノ開基ニ係ル眼ヲ患フルモノ多ク此寺ニ詣ゾ
瑞巖寺	同	字奥條	禪宗ナリ
龍潭寺	同	字太田	禪宗ナリ後花園天皇ノ御宸筆ナル釋尊名號及徳川家康ニ關スル袈裟ヲ藏ス
宮川神社	宮前村字宮川		村社ナリ
佐々尾神社	同	字神前	同上

篠葉神社	同	字猪倉	同上
金輪寺	同	字宮川	神尾山ト通稱ス天台宗ナリ延暦年間ノ創建ニ係リ宸筆繪言其他ノ寶物多ク境内ニ頼三樹三郎櫻井新三郎ノ二碑アリ
加舎神社	本梅村	字西加舎	村社ナリ
屋磨内神社	同	字東加舎	指定社ナリ
延福寺	同	字西加舎	眞言宗ニシテ高野ノ西南院ノ末寺アリ文覺上人ノ創立ニ係ル
西山神社	畑野村	字千ヶ畑	指定社ナリ
法常寺	同	字同	神宗ナリ開山ハ佛頂國師ニシテ歴代天皇ノ靈牌ヲ祀リ特別保護建造物ニ屬ス
大井神社	大井村	字大井	郷社ナリ全村ノ氏神ニシテ村名ノ因テ起ル所以ナリ
金花寺	同	字土田	淨土宗ナリ龍光山ト號ス本尊ハ惠心ノ作ニシテ地藏ノ像ハ小野篁ノ作ト傳フ

岩城神社	千代川村	字北庄	村社ナリ
天満神社	同	字小林	菅公在世ノ時領地園部へ發向ノ際休憩アリシ緣故アリ境内ニ操櫻アリ
宮垣神社	同	字川關	指定社ナリ
八幡神社	同	字拜田	同上
松尾神社	旭村	字美濃田	村社ニシテ式内ナリ大山昨命外一神ヲ祀リ和銅年間ノ創立ト云フ
天照皇太神宮	同	字山階	大同三年平城天皇ノ勅詔ニヨリ齋キ祀ラレタルモノト傳フ指定社ナリ
梅田神社	同	字印地	天兒屋根命ヲ祀リ和銅年間ノ創立ニヨル因ニ印地ノ古名ヲ井路ト云フ神徳ニ關スル口碑アリ
元明院	同	字美濃田	眞言宗ニシテ護國寺未流ナリ元明天皇ノ創立平重盛ノ再建ナリシモ天正ノ兵火ニ燒カレ今ノ堂宇ハ再興ニ係ル藥師如來ハ聖德太子ノ作ト云ヒ境内ノ五輪塔ハ元明天皇ノ御陵ト云フ口碑アリ
光徳寺	同	字杉	神宗ナリ應永年間ノ創立ニシテ足利義持ノ歸依セシ寺ナリ

眞神寺	同	字山階	禪宗ナリ弘法大師ノ高足賢峯義祥ノ創立ナリト傳フ
小川月ノ神社	馬路村字馬路	村社ナリ	
天満宮社	同	指定社ナリ	
長林寺	同	禪宗ナリ	
日吉神社	河原林村字河原尻	村社ナリ	
若宮神社	同	字勝林島	村社ナリ
出雲神社	千歳村字出雲	國幣中社ニシテ丹波一ノ宮ト云ヒ和銅年間ノ創立ニシテ大國主神ヲ祀ル四圍ノ風景清趣アリ	
八幡神社	同	字毘沙門	村社ナリ
愛宕神社	同	字國分	同上

興

國分寺	同	字同	天平九年ノ創建ニシテ淨土宗ナリ國毎ニ一寺ヲ建立セラレタルモノ、一ナリ境内古瓦ヲ出シ塔ノ礎石昔ナガラニ存セリ
請田神社	保津村小字請田	請田ハ古名ヲ浮田ト云フ村社ナリ	
文覺寺	保津村	保津ノ庄司春木入道々善(文覺上人ノ後父)ノ開基ニシテ文覺上人ノ守本尊ヲ祀リ禪宗ナリ	

### 八大樹、巨石

天守台公孫樹	龜岡町城趾	五重ノ天守ハ毀タレルモ此ノ樹アリテ天正ノ昔ヲ語ルモノ、如シ
櫻馬場ノ大樹	同	往古ノ一里塚ニ在リタル槻ハ今ハ伐除セラレタルモ其名猶存ス俗ニオホギサント云フ
三蓋松	同	野橋立ノ内ニ在リテ三宅橋畔ニ在リ長八間上部ハ赤松中部ハ五葉下部ハ黒松ニシテ幹ノ周圍ハ尺ニ及ブ
矢塚ノ椎ノ木	篠村字篠	八幡境内ニアリ

興

湯	壺	東別院村字湯谷
屏風	岩	曾我部村字法貴谷
鷄	石	櫻田村字田能
馬ノ首	石	同 (山城トノ界)
地獄川ノ橋	石	吉川村 (蕪田野村トノ界)
義經腰懸	石	蕪田野村字佐伯
夫婦	松	同
舟着	岩	同 字興條
赤子	岩	同 字佐伯 共有山

豎七尺横四尺ノ石ニノ掘リ窪メテ深サ三尺ニ及ベリ今ハ西別院村字萬願寺長澤市之助氏方ニ在リ湯谷ノ地名ト共ニ考証ノ値アリ形屏風ヲ立テタルガ如シ一ニ之レヲ明智辰リト云フ

鷄ニ關スル口碑アリ  
形ニ由テ名アリ並ニ口碑アリ

橋石ニ鬼ノ腕ノ形アリ川ノ名之レヨリ起ルト云フ  
義經一ノ谷ヲ攻ムル際腰ヲ懸ケタル石ナリト云フ

蕪田野社ノ北一町菰川ノ岸ニアリ  
口碑アリ

天狗	岩	同 字鹿谷
八疊	岩	同 字太田
松尾神社旅所	松	旭村 字美濃田小 字森ノ下
綱ノ宮	大樹	馬路村 口碑アリ
國分寺ノ公孫樹		千歲村字國分 國分寺堂前ニ在リ乳房狀ノ突起多シ
峯堂	一本松	保津村字峯堂 山ノ頂巖岨村トノ界ニシテ間道ニ當ル木ノ近年枯レタルハ惜ムベシ
保溪	ノ奇岩	同 溪間 名勝ノ部參看

獨鈷拋山上ニ在リテ寺ノ縁起ニ因ム口碑アリ

老松二株アリ和銅年間ノモノナリト傳フ

口碑アリ

國分寺堂前ニ在リ乳房狀ノ突起多シ

山ノ頂巖岨村トノ界ニシテ間道ニ當ル木ノ近年枯レタルハ惜ムベシ

### 九口碑傳説



檀田村	弘法谷、清水垣内	弘法谷ハ大師ガ大蛇ヲ封セント云ヒ清水谷ハ錫杖ニテ清泉ヲ導ケリト傳フ
曾我部村	犬飼	往古犬飼部ヲ置キタリシ所ト云フ
藤田野村	藤田阿禮ノ舊跡	字佐伯ノ南曾我部村字穴太ノ西小字原野ハ其ノ舊蹟ナリト云ヒ傳フ
宮前村	宮川、神前	宮川神前及ヒ隣郡大内ノ頭字三ツチ綴リテ大神宮トナル往古豊受太神遷宮ノ時假神殿ヲ營造セシニヨルト傳フ

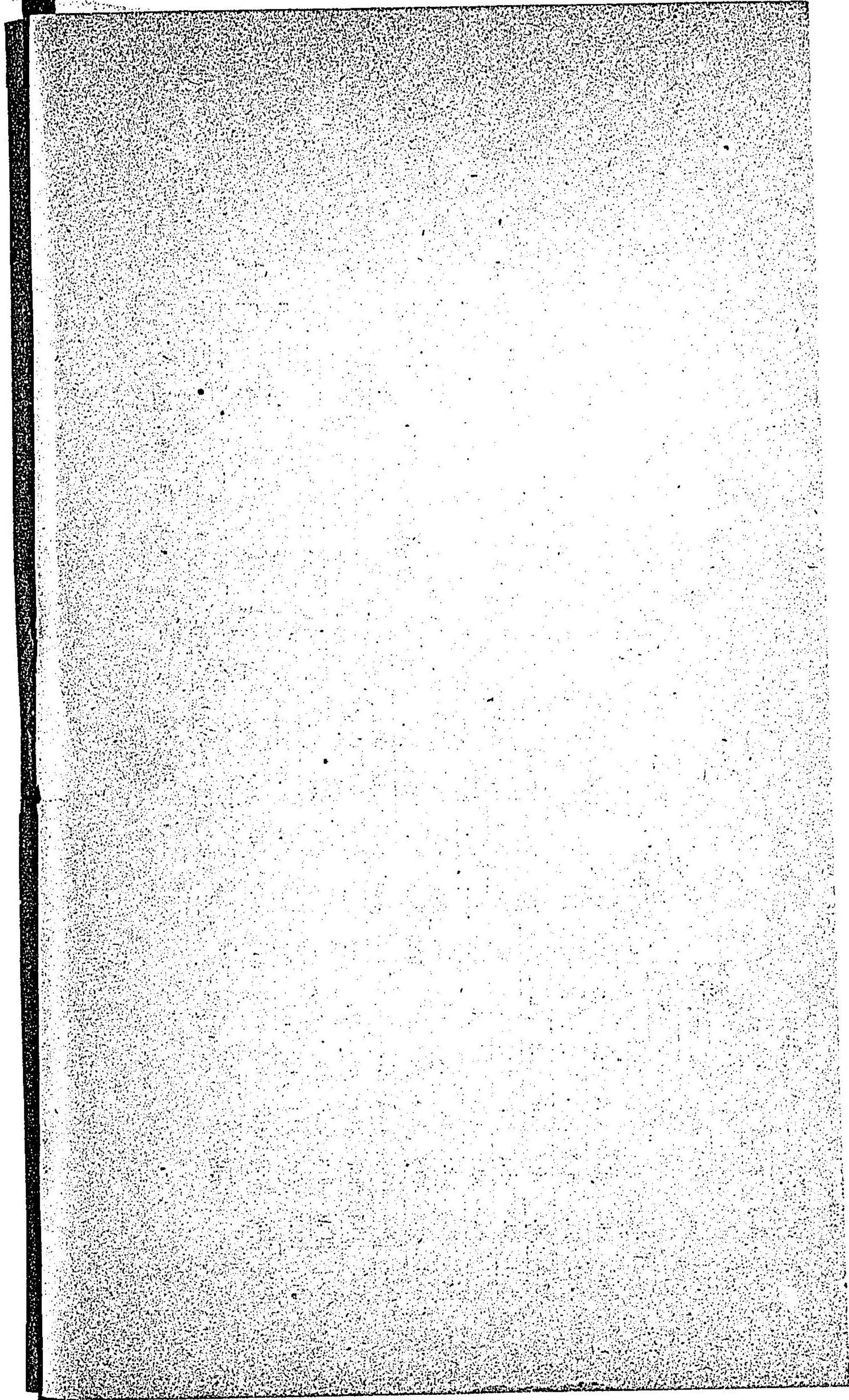
### 特産物 (南桑田郡)

龜岡町	酸漿、土當歸、筍、松茸、栗芋羹、東雲、種苗
篠村	松茸、筍、甘藷、蠶種、鮎、松茸並ニ筍罐詰
櫻田村	炭、寒天
東別院村	松炭、寒天、線香粉
西別院村	寒天、池田炭
曾我部村	竹、花崗石
吉川村	種粉、水飴、餡菓子
藤田野村	蒲庵、花崗石、梨、鯉
本梅村	寒天、木賊、栗
畑野村	白炭、黒炭
宮前村	砥、石、柿
大井村	花崗石、土當歸、線香、芋

南桑田郡部内里程表

京都	總務部	桑田	東別院	西別院	吉川	曾我部	藤田	本橋	畑野	宮前	大井	千代川	馬路	千代川	河原林	旭	保津
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

千代川村 花崗石、蠶、  
 馬路村 小豆、百合、繭、  
 旭村 鯉、蠶種、繭、  
 千代川村 竹細工、硯石、石灰、  
 河原林村 梨、繭、  
 保津村 松茸、竹、鮎、小麥、



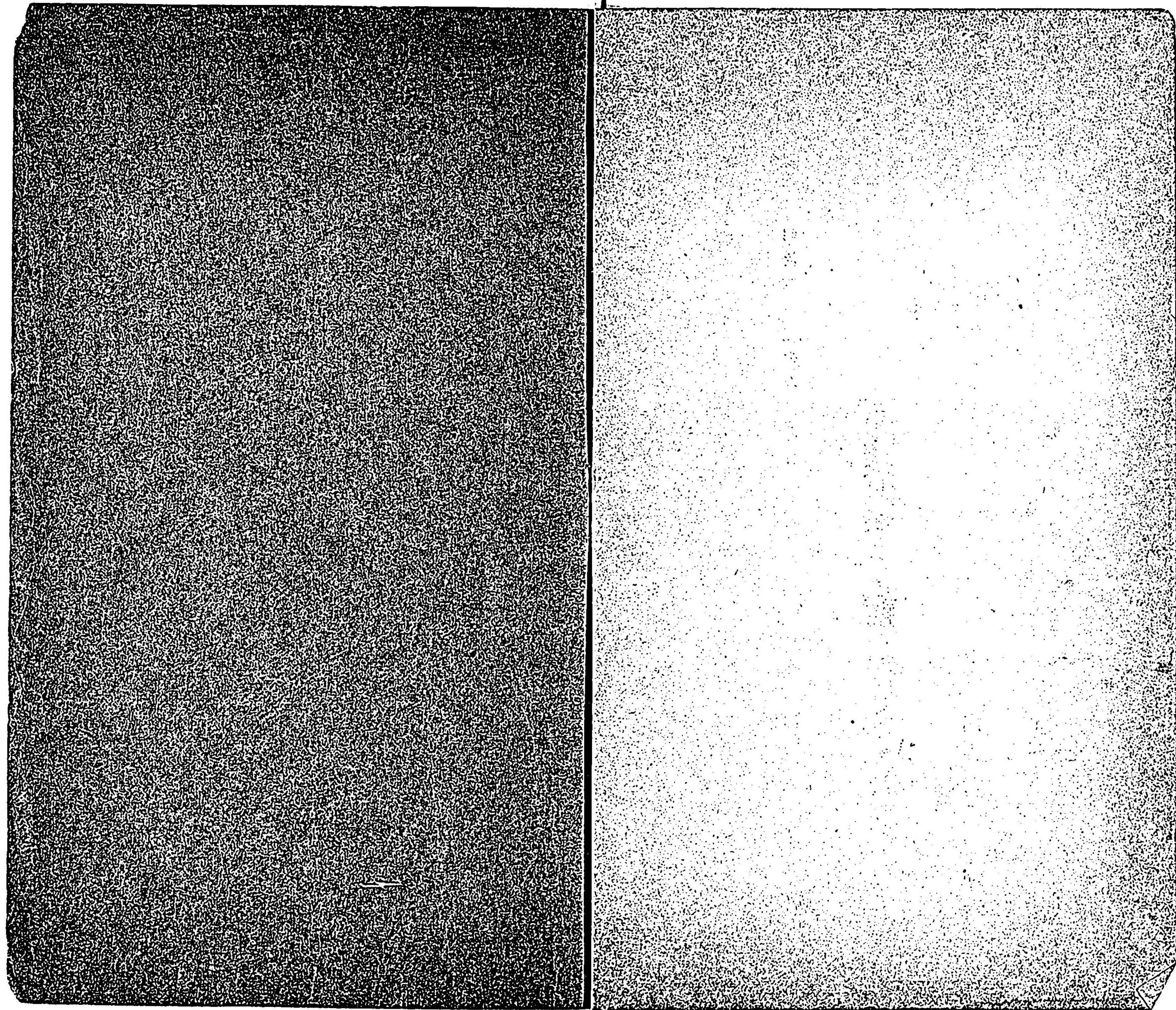


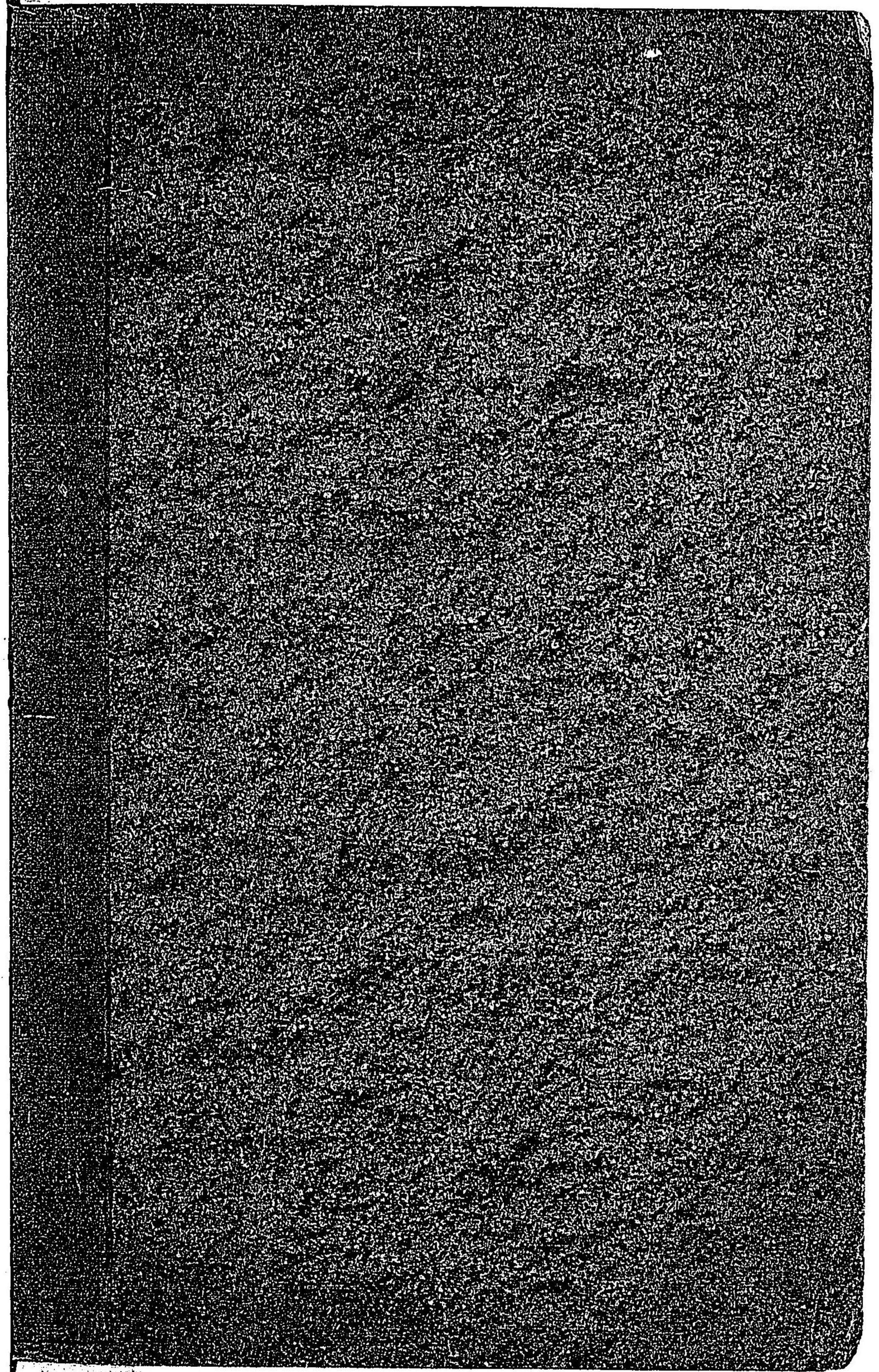
明治四十五年七月七日

京都府教育會南桑田郡部會編

(以印刷代謄寫)

国立国会図書館





特71

595

南桑史蹟

300972-000-8

特71-595

南桑史蹟

京都府教育会南桑田郡部会/編

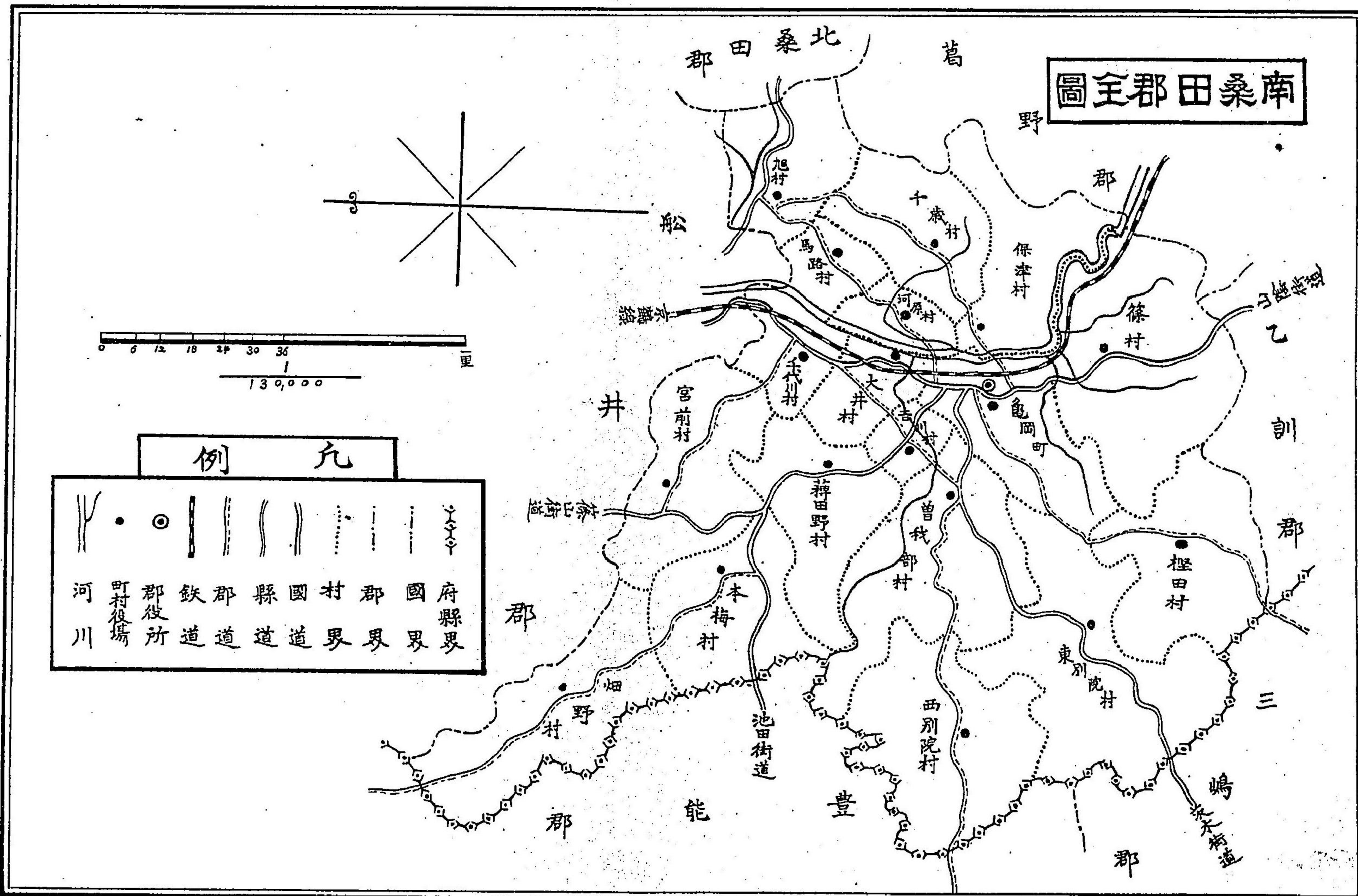
M45.7

ACB-0019





南桑田郡全圖



凡例

- 府縣界
- 郡界
- 村界
- 國道
- 縣道
- 郡道
- 欽道
- 郡役所
- 町役場
- 河川

